

1 調査名称：久慈市都市計画道路網基本方針策定業務委託（その2）

2 調査主体：久慈市

3 調査圏域：久慈市管内

4 調査期間：平成27年度～平成28年度

自)平成27年7月31日～至)平成29年3月31日

5 調査概要：

本市では、東日本大震災を契機に三陸沿岸道路の整備や久慈川河川堤防の津波対策に伴う湊橋の架け替え等により、都市計画道路を取り巻く状況が急激に変化している。また、本市の都市計画道路は、16路線27,565mが決定されており、改良率は70.9%となっているが、都市計画決定後、社会経済情勢の変化等から長期間事業未着手となっている都市計画道路もあり、地権者等に長期間の制限をかけている状況となっている。

このことから、本市における主要道路網の配置を踏まえ、都市計画道路の見直し対象路線を抽出するとともに、見直しの必要性を検証のうえ、平成26年度から見直しを実施している都市計画マスタープランとの整合性を図りながら、都市計画道路網の立案を行うものである。

## I 調査概要

1 調査名称：久慈市都市計画道路網基本方針策定業務委託（その2）

### 2 報告書目次

#### 1. 業務概要

1-1 業務目的

1-2 概要

1-3 検討の流れ

#### 2. 過年度検討結果のまとめ

2-1 現況把握

2-1-1 人口等の概況

2-1-2 上位関連計画

2-1-3 都市計画道路の整備状況

2-2 見直し検討路線の選定（STEP1）

2-2-1 選定の考え方

2-2-2 選定結果

2-2-3 見直しカルテ（STEP1）

2-3 社会状況の変化に伴う必要性の検証（STEP2）

2-3-1 検討方法

2-3-2 選定結果

2-3-3 見直しカルテ（STEP2）

#### 3. 変更・廃止に向けた具体的な検討（STEP3）

3-1 上位関連計画等との整合性

3-1-1 検討方法

3-1-2 整合性の確認に用いた上位計画

3-1-3 上位計画との整合性の整理および抽出結果

3-2 広域的な道路網への影響検討

3-2-1 個別路線（区間）の見直しに伴う検討対象道路ネットワークの把握

3-2-2 個別路線（区間）の見直しに対する道路網の影響検討

3-3 個別路線の詳細検討

3-3-1 検討方法

3-3-2 選定結果

3-3-3 見直しカルテ（STEP3）

#### 4. 協議用資料作成

## 3 調査体制

○都市計画道路網基本方針策定に関する検討委員会  
(委員長：久慈市建設部長)

○都市計画道路網基本方針策定に関する検討委員会 事務局  
(久慈市建設部都市計画課整備係)

## 4 委員会名簿等

○都市計画道路網基本方針策定に関する検討委員会

	所属等		職名
委員長	建設部		建設部長
副委員長	建設部	土木課	土木課長
委員	総務部	財政課	財政課長
			財政係長
		消防防災課	消防防災課長
	総合政策部	地域づくり振興課	地域づくり振興課長
			地域づくり・女性参画係長
	生活福祉部	生活環境課	生活環境課長
	産業経済部	商工振興課	商工振興課長
			商工労政係長
		市街地活性化推進課	市街地活性化推進課長
			市街地振興係長
			観光交流課
	観光交流課	観光交流課長	
		観光物産係長	
	建設部	土木課	用地管理係長
			土木係長
		建築住宅課	建築住宅課長
下水道課	下水道課長		
	整備係長		
	水道事業所	次長	
		工務係長	

## II 調査成果

### 1 調査目的

○三陸沿岸道路の整備や久慈川河川堤防の嵩上げに伴う市道橋の架け替えにより、都市計画道路を取り巻く状況が劇的に変化。

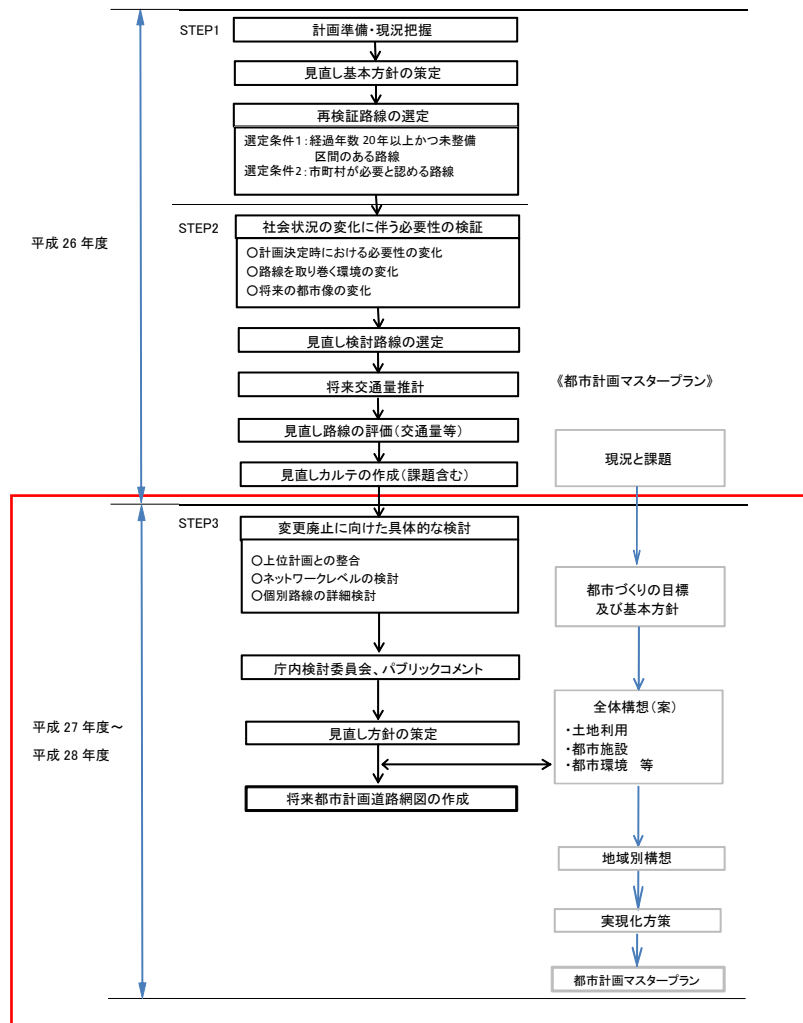
○地権者に対し制限をかけている長期間事業未着手路線の見直しの必要性



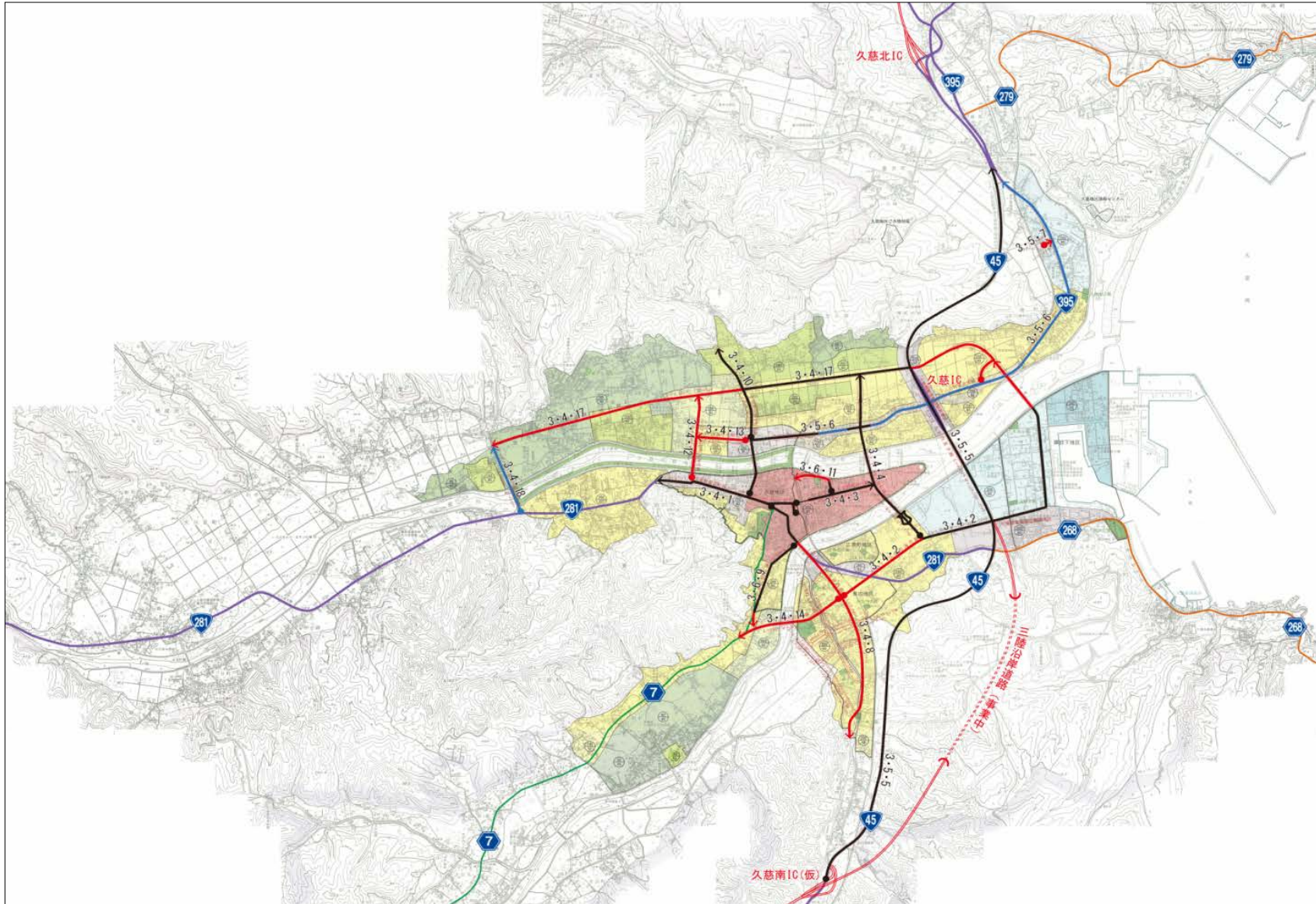
上記課題に対応すべく・・・

社会経済情勢の変化に対応した都市計画道路網の立案

### 2 調査フロー

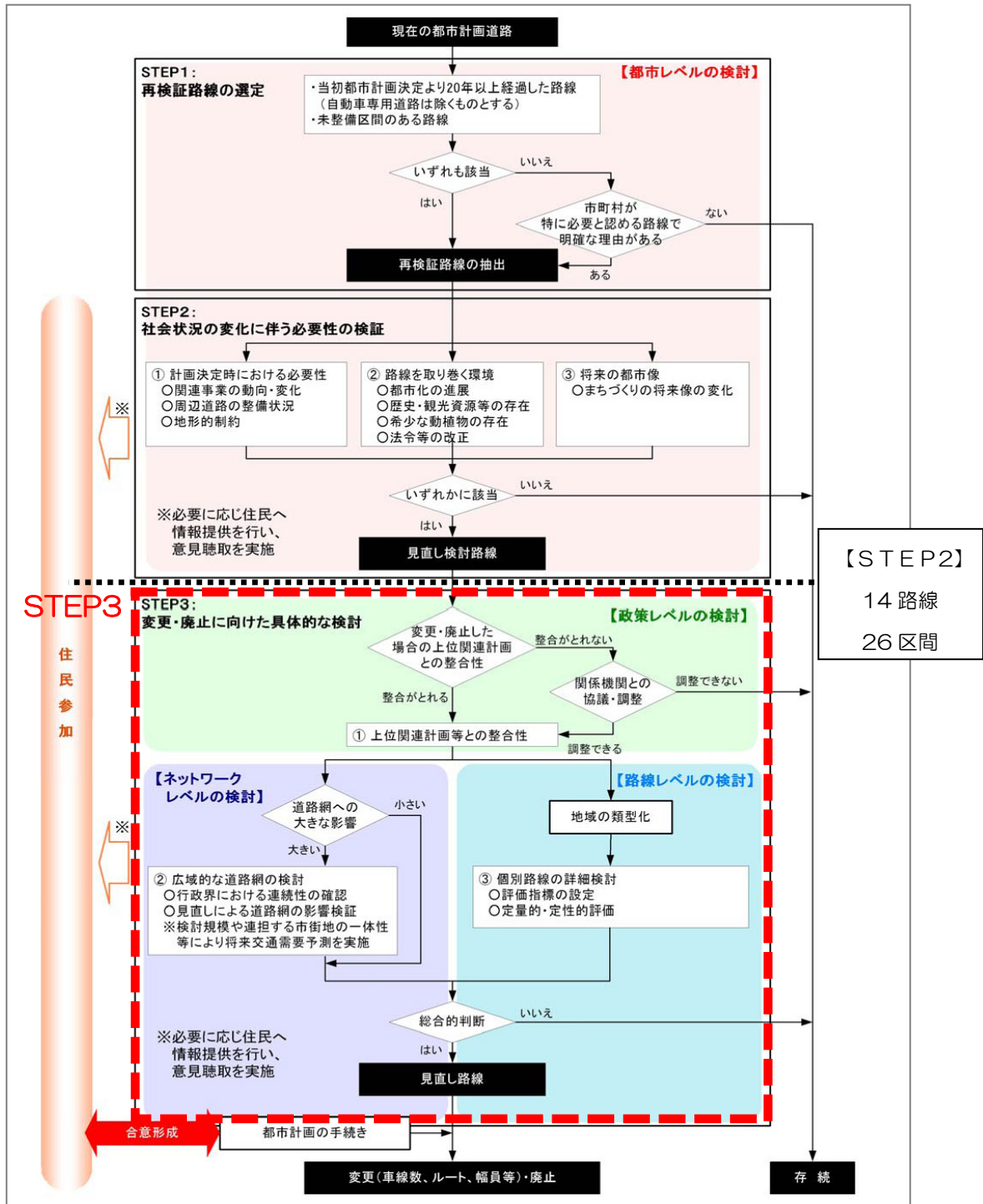


### 3 調査圏域図



#### 4 調査成果

STEP2にて抽出された検討路線について、当該路線の変更・廃止を行った場合においても、上位計画等における当該路線の位置づけや計画内容との整合がとれるか、また広域的な道路網に与える影響がないか等、変更・廃止に向けた具体的な検討を行い、計画の方向性を明確にするものである。



## 上位関連計画等との整合性

見直し検討路線について、当該路線の変更・廃止を行った場合においても、上位関連計画等における当該路線の位置付けや計画内容などと整合性が図れるかどうか、確認を行った。

整合性を確認する上位関連計画は、過年度検討にて整理を行っている以下の上位計画・関連計画とする。

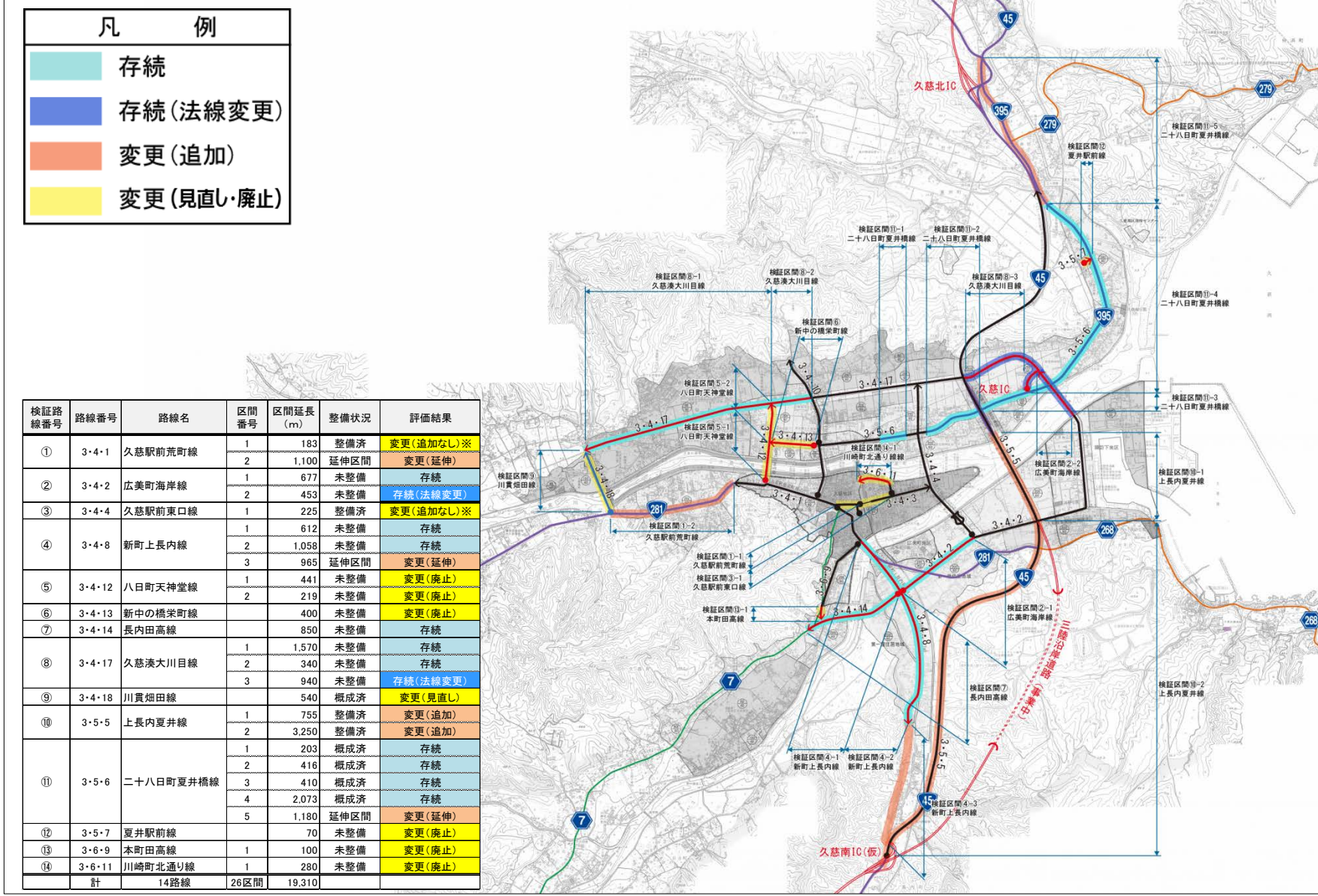
### ▼上位関連計画一覧

No.	計画名	策定日・策定主体
1	岩手県都市計画ビジョン (久慈都市計画区域マスタープラン)	平成 16 年 3 月、岩手県
2	久慈市都市計画マスタープラン	平成 20 年 3 月、久慈市
3	久慈市総合計画	平成 23 年 3 月、久慈市
4	久慈市復興計画	平成 23 年 7 月、久慈市
5	久慈市復興整備計画 (第 5 回変更)	平成 25 年 6 月、久慈市

結果として、存続 10 区間、存続（法線変更）2 区間、変更（見直し・廃止）9 区間、変更（追加）5 区間となった。



(参考)『上位関連計画等の把握および整合性の整理』における抽出結果





## 広域的な道路網の影響検討

都市計画道路網の見直しを行わなかった場合(フル整備)と見直しを行った場合についての交通需要予測を行い、その将来交通量を用いて、各路線・区間の混雑度を算出した。この結果を用いて将来の混雑状況及び見直しを行った際に新たな混雑が発生しないかどうかを確認した。見直しを行う都市計画道路周辺に置いて混雑度が 1.25 を上回る区間がない場合、広域道路網への影響はない(新たな混雑は発生しない)と判断した。

なお、交通容量については以下のとおり設定した。

路線	混雑度算出に用いる交通容量
県道以上道路(道路交通センサス対象路線)	・ H22 道路交通センサス交通容量 (=24 時間全車交通量/混雑度)
上記以外	・ QVによる設計基準容量(Q <sub>0</sub> )

### ▼ 混雑度の解釈

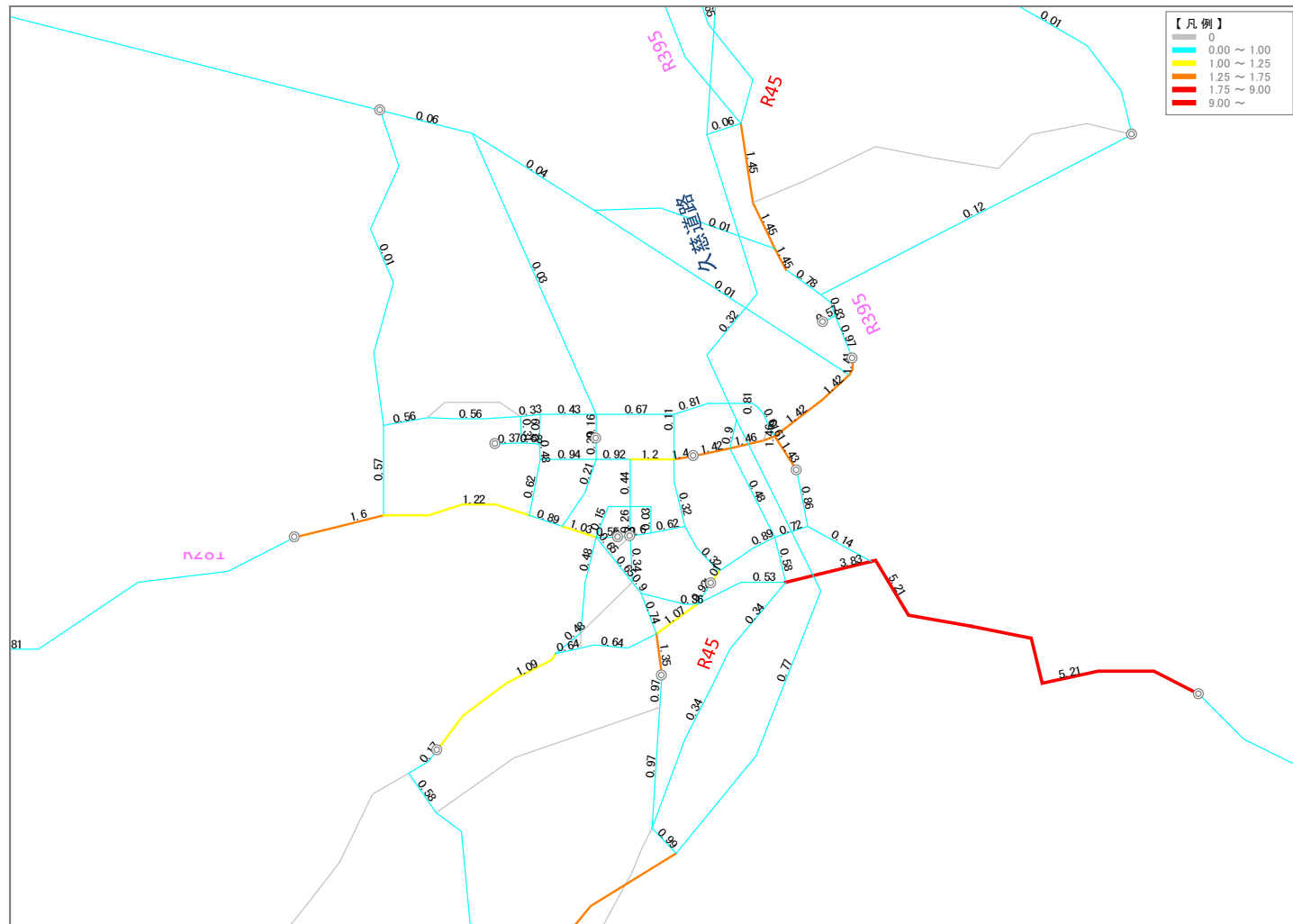
混雑度	状態交通状況の推定
1.75 以上	慢性的混雑状態を呈する
1.25~1.75	ピーク時間はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速的に増加する可能性の高い状態。ピーク時のみの混雑から日中の連続的混雑への過渡状態と考えられる。
1.0~1.25	昼間12 時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1~2 時間(ピーク時間)ある。 何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さい。
1.0 未満	昼間 12 時間を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。 渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。

(「道路の交通容量」 p.109 参照)

①都市計画道路網の見直しを行わなかった場合(フル整備)の混雑状況

将来における久慈市内の混雑状況をみると、国道 395 号や国道 281 号などの一部で混雑度 1.25 以上の箇所が散在しているものの、全体的に交通量が交通容量を下回っている箇所が多くなっている。

▼ H42 フル整備時混雑度図 (※図中数字は混雑度)

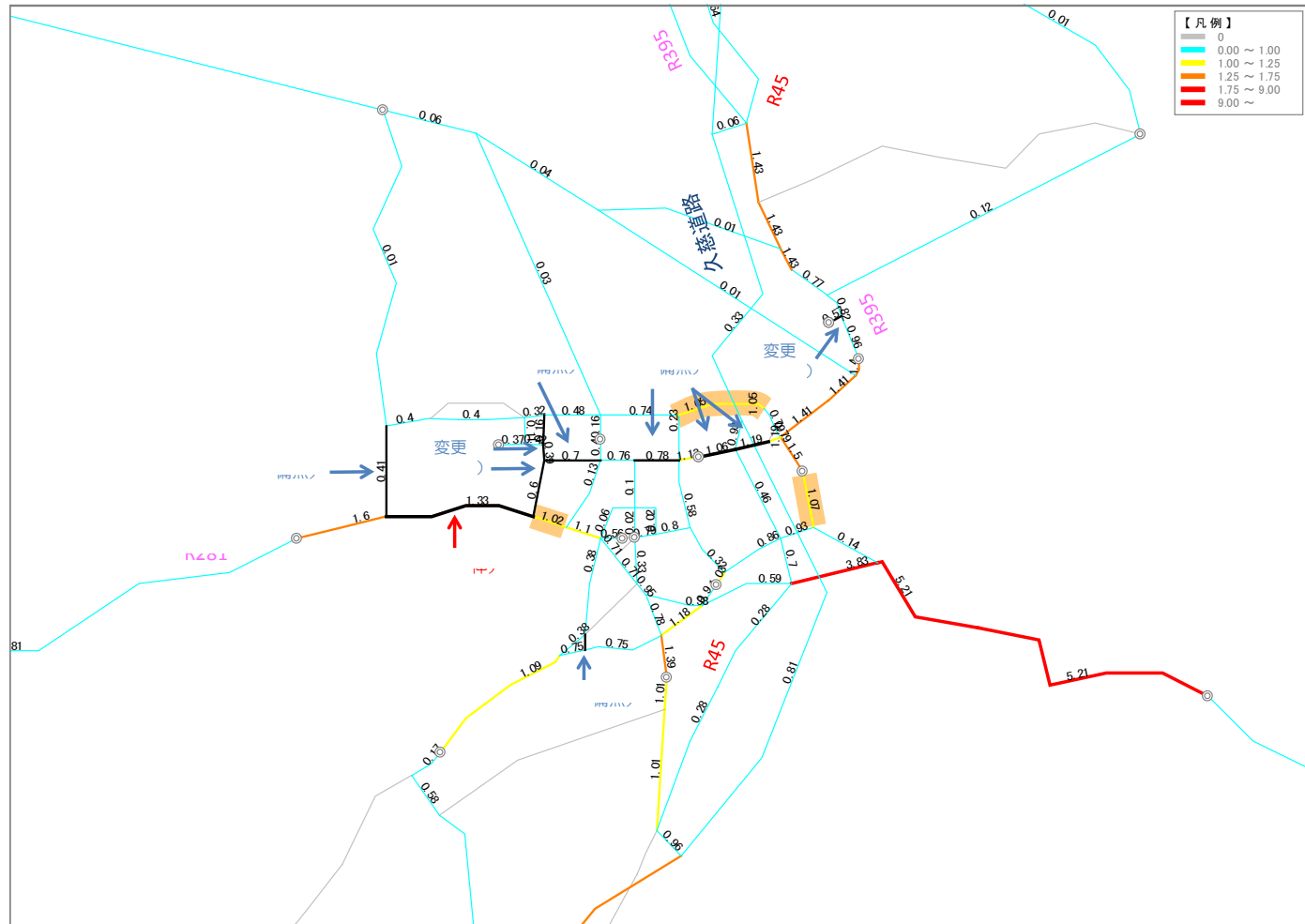


②都市計画道路網の見直しを行った場合の混雑状況

都市計画道路の見直しを行った場合、廃止路線の周辺(ハッチ部分)で混雑度が1.0を超過する区間がある。

しかしながら、混雑度は1.25を下回っており、主にピーク時に限定した混雑と考えられることから、見直しによる新たな混雑の発生はないものと判断した。

▼ H42 見直し整備時混雑度図 (※図中数字は混雑度)



## 個別路線の詳細検討

都市計画道路見直しマニュアルに基づき、本市の交通体系や地域状況を踏まえ、今回の評価指標の判断基準を以下のように設定した。

【道路機能による指標(必要性)】

区分	視点	評価指標	評価	判断基準 (岩手県マニュアル)	今回の判断基準
交通機能	アクセス機能	1 自動車専用道路や都市の骨格を形成する主要な幹線道路等とアクセスしているか。	有無 (○×)	自動車専用道路、主要幹線道路	国道以上、主要幹線道路(新中野橋学校前線、二十八日町夏井橋線)、主要地方道
		2 主要な拠点へアクセスしているか。	有無 (○×)	都市内拠点、主要な郊外拠点	主要な拠点(久慈駅、港湾、市役所、病院(2次救急施設)等)、郊外拠点(大規模小売店舗集積地等)
		3 駅などの主要な交通施設へアクセスしているか。	有無 (○×)	鉄道駅、港湾、空港	駅、港湾、IC等
	トラフィック機能	4 代替する路線がないか。	有無 (○×)	代替路線	代替路線(幹線道路)の有無
		5 混雑の緩和や解消に寄与するか。	有無 (○×)	交通量、混雑箇所、渋滞ポイント	交通量、混雑箇所、渋滞ポイント
		6 学校などが近くにあり、歩行者や自転車交通が多く見込まれるか。	大小 (○×)	通学路、公共公益施設	学校・公共公益施設が近くにある、または通学路に指定されている
市街地形成機能	まちづくりを支援する効果	7 新規の施設立地や再開発が進むなど市街地における土地利用を支援する道路か。	大小 (○×)	市街地開発関連事業	市街地エリア、第2期久慈市中心市街地活性化基本計画
		8 市街地内のまちなみ景観を支援する道路か。	有無 (○×)	伝統的建造物群、観光資源	市街地エリア、伝統的建造物群、観光資源
空間機能	空間としての価値	9 火災時に延焼遮断機能を有する道路か。	有無 (○×)	幅員15m以上	計画幅員15m以上
		10 避難・消火活動を支援する道路か。	有無 (○×)	避難路、緊急輸送路	避難路指定、緊急輸送路指定車道幅員5.5m以上(緊急輸送車両のすれ違いの可否)

【道路機能による指標(実現性)】

区分	視点	評価指標	評価	判断基準 (岩手県マニュアル)	今回の判断基準
周辺環境への影響	環境に与える影響	11 地域を分断するなど地域コミュニティへの影響。	大小 (○×)	既存のコミュニティ、DID	未整備(新設)路線か否か(道路新設によるコミュニティの分断)
		12 歴史・文化財への影響。	大小 (○×)	歴史・文化財	歴史・文化財
		13 自然環境を破壊するなど環境保全上の影響。	大小 (○×)	公共緑地、自然環境資源	公共緑地(公園)、自然環境資源
事業・構造上の問題	事業・構造上の問題	14 計画範囲内の支障物件数及び種類による影響	大小 (○×)	支障物件数	支障物件数
		15 橋梁やトンネルなど工事の難しさ。	大小 (○×)	長大な橋梁、トンネル	橋梁、トンネル、線路横断

【岩手県の特性からみた指標】

区分	視点	評価指標	評価	判断基準 (岩手県マニュアル)	今回の判断基準
交流・連携	「新しい結びつき」を支える	16 隣接する都市間を連絡する道路か。	大小 (○×)	中心市街地間の最短経路	中心市街地間の最短経路
		17 産業の活性化に寄与する道路か。	大小 (○×)	工業団地、業務団地へのアクセス道路	工業団地、業務団地へのアクセス道路
快適・安全	「距離・雪・峠」を克服する	18 バリアフリーかユニバーサルデザインに寄与する道路か。	大小 (○×)	歩道の有無、段差等バリアの有無	歩道の有無、段差等バリアの有無
		19 バス等の公共交通のサービスが可能となる道路か。	大小 (○×)	公共交通不便地域内を通る路線、現況バス路線	現況バスルートの有無
		20 冬期間の円滑な道路交通を確保する道路か。	大小 (○×)	冬期間の交通不便道路	冬期間の交通不便道路(冬期の通行止め等)
		21 災害時における代替道路となるか。	大小 (○×)	通行止め区間、津波による浸水区間	3.11津波による浸水区間の代替(平行)道路指定緊急輸送路の代替道路
環境との調和	「環境首都」にふさわしい	22 都市と郊外部の観光地・農漁村等を連絡する道路か。	大小 (○×)	観光地、農村、漁村	観光地、農村、漁村

※灰色ハッチ部分は地域の特性により、評価指標から除外(P3-95参照)

個別路線の詳細検討の結果および総合的判断による検討結果として、見直し候補路線の14路線(26区間)のうち、2路線3区間を法線変更(路線としては存続)、5路線7区間については、今後のまちづくりの方向性や復興支援道路の進展状況を見ながら追加(継続検討)することとし、それ以外は存続とした。

(参考) 総合的判断による変更・廃止路線の選定結果

凡 例	
	国 道
	一般都道府県道
	主要地方道
	整備済区間
	存続区間
	存続(法線変更)区間
	追加(継続検討)区間
	起 点
	終 点

検証路線番号	路線番号	路線名	区間番号	区間延長 (m)	整備状況	評価結果
①	3・4・1	久慈駅前荒町線	1	183	整備済	追加(継続検討)
			2	1,100	延伸区間	追加(継続検討)
②	3・4・2	広美町海岸線	1	677	未整備	存続(法線変更)
			2	453	未整備	追加(継続検討)
③	3・4・4	久慈駅前東口線	1	225	整備済	追加(継続検討)
			2	225	未整備	存続
④	3・4・8	新町上長内線	1	612	未整備	存続
			2	1,058	未整備	存続
			3	965	延伸区間	追加(継続検討)
⑤	3・4・12	八日町天神堂線	1	441	未整備	存続
			2	219	未整備	存続
⑥	3・4・13	新中の橋栄町線	1	400	未整備	存続
			2	850	未整備	存続
⑦	3・4・14	長内田高線	1	1,570	未整備	存続
			2	340	未整備	存続
⑧	3・4・17	久慈湊大川目線	1	940	未整備	追加(継続検討)
			2	340	未整備	存続
			3	940	未整備	存続
⑨	3・4・18	川貫畑田線	1	540	概成済	存続
			2	755	整備済	追加(継続検討)
⑩	3・5・5	上長内夏井線	1	203	概成済	存続
			2	416	概成済	存続
			3	410	概成済	存続
⑪	3・5・6	二十八日町夏井橋線	4	2,073	概成済	存続
			5	1,180	延伸区間	追加(継続検討)
			1	70	未整備	存続
			2	100	未整備	存続
⑬	3・6・9	本町田高線	1	100	未整備	存続
⑭	3・6・11	川崎町北通り線	1	280	未整備	存続
計	14路線	26区間	19,310			

